

第4章 社会的自立

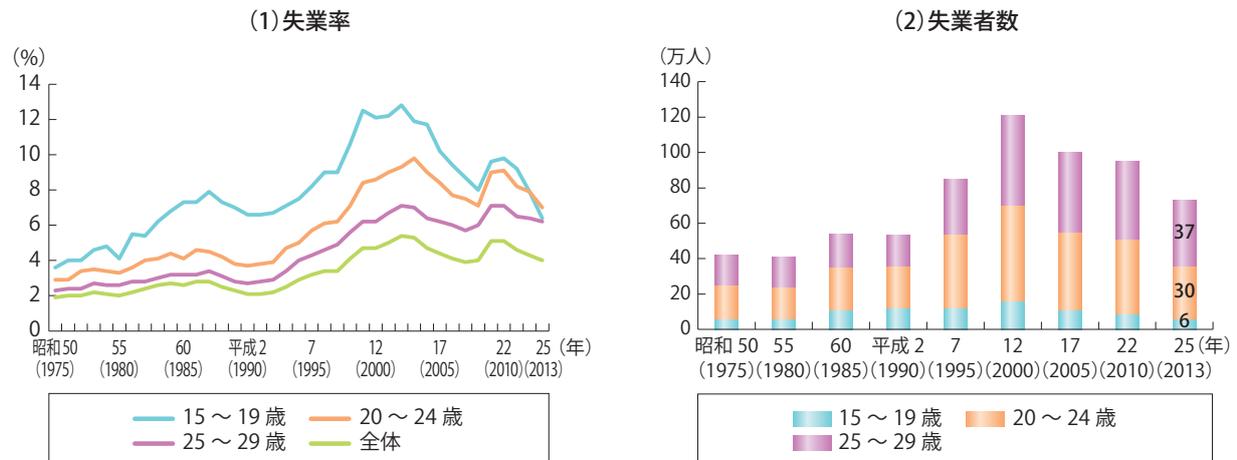
第1節 労働

1 概況

(失業)

○若者の失業率はこのところ改善が続くも、全体と比較して常に高い。(図表30)

図表30 完全失業率

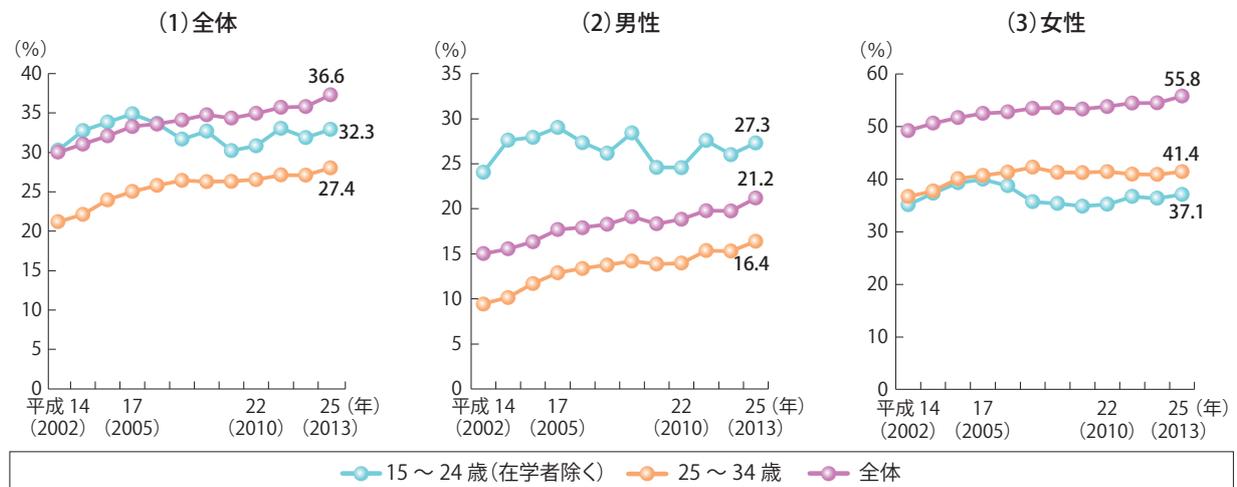


(出典) 総務省「労働力調査」

(非正規雇用)

○若者の非正規雇用者比率は、全体と比べれば低いものの、緩やかな上昇傾向。(図表31)

図表31 非正規雇用者比率



(出典) 総務省「労働力調査」

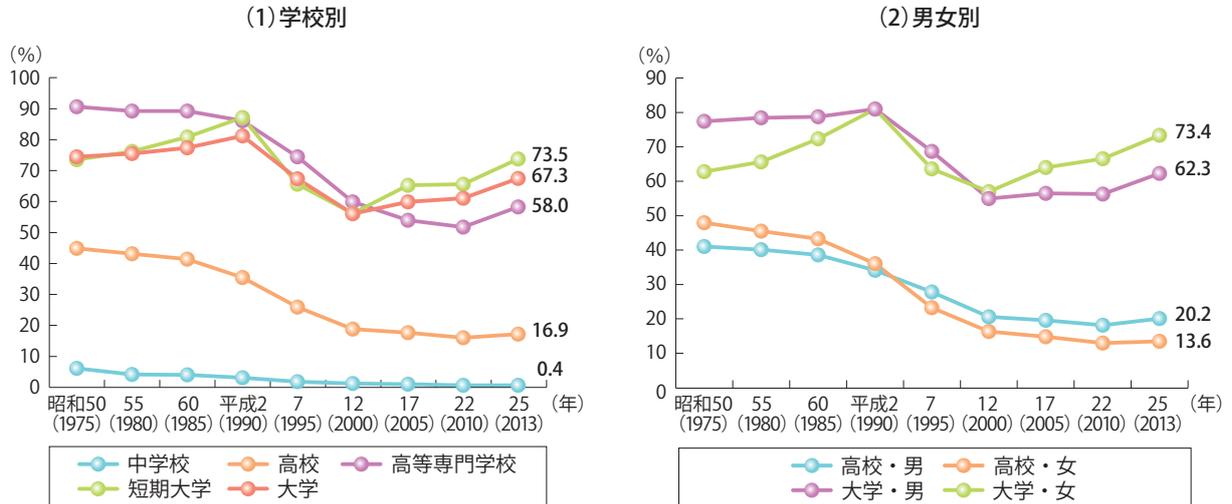
(注) ここでいう非正規雇用者比率とは、役員を除く雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合のことをいう。

2 就職・離職状況

(就職)

○就職率は、中学校卒業者が0.4%、高校卒業者が16.9%、大学卒業者が67.3%。(図表32)

図表32 就職率



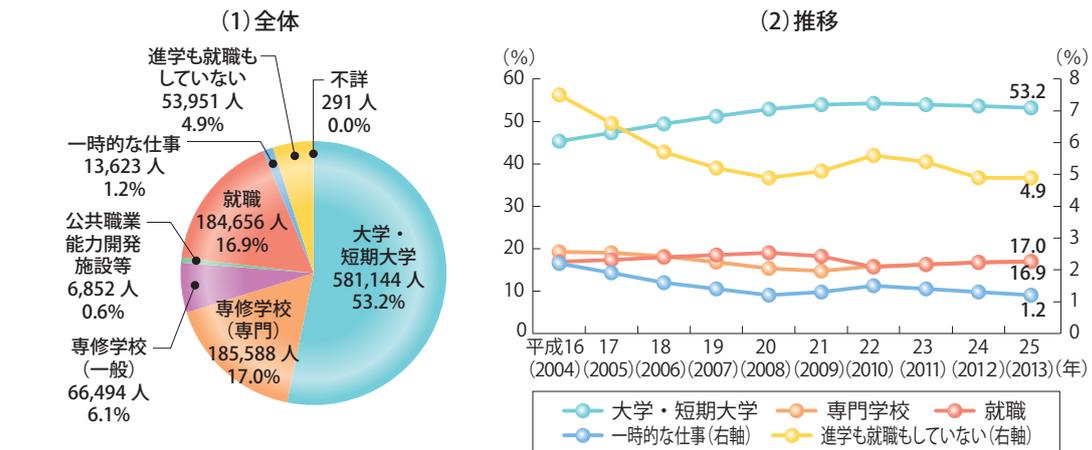
(出典) 文部科学省「学校基本調査」

(注) 1. 各年3月卒業者のうち、就職者の占める割合。

2. 上記の中学校と高校の卒業者には、中等教育学校前後期課程修了者が含まれている。

○高校卒業者の4.9%、大学卒業者の13.6%は進学も就職もしていない。(図表33, 図表34)

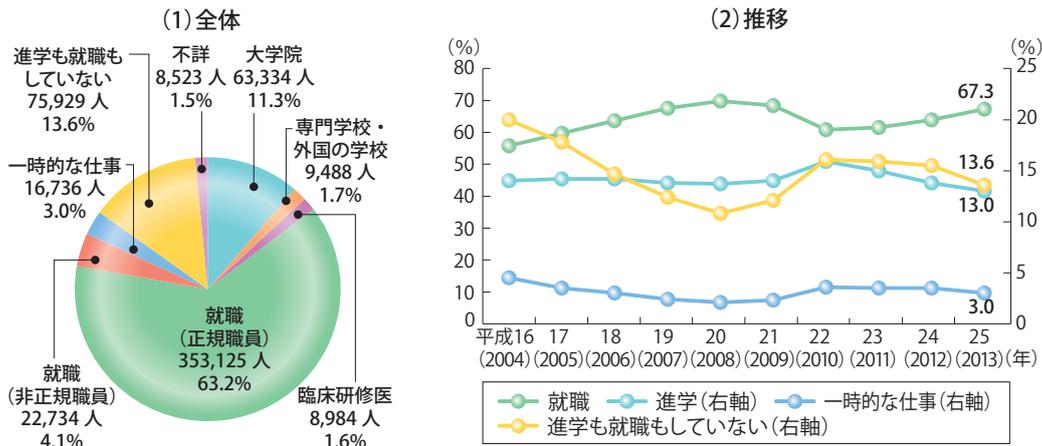
図表33 高校卒業者(平成25年3月)の状況



(出典) 文部科学省「学校基本調査」

(注) 中等教育学校後期課程卒業者を含む。

図表34 大学卒業生（平成25年3月）の状況

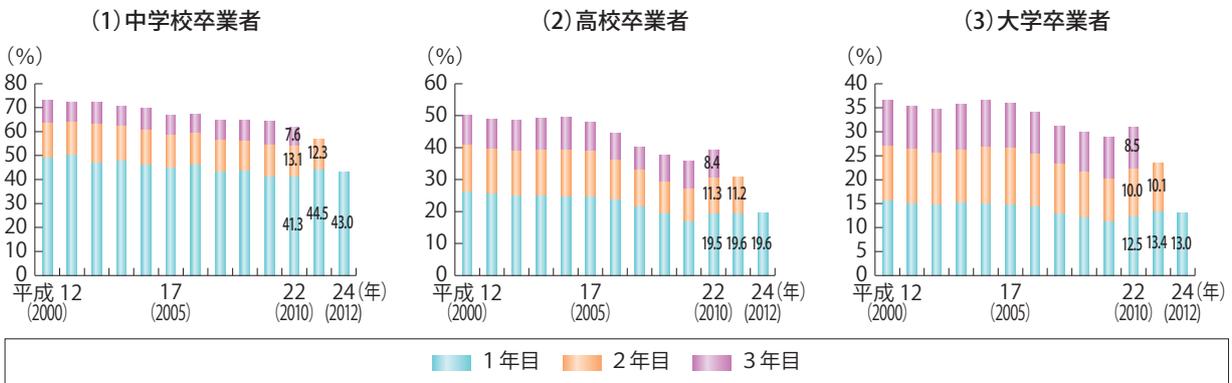


(出典) 文部科学省「学校基本調査」

(離職)

○新規学卒就職者の就職後3年以内の離職率をみると、平成22（2010）年3月卒業生では、中学校卒業生が62.1%，高校卒業生が39.2%，大学卒業生が31.0%。（図表35）

図表35 新規学卒就職者の在職期間別離職率



(出典) 厚生労働省「新規学校卒業生の就職離職状況調査」
 (注) 1. 厚生労働省が管理している雇用保険被保険者の記録を基に算出したもの。
 2. 新規に被保険者資格を取得した年月日と生年月日により各学歴に区分している。

第2節 若年無業者，フリーター，ひきこもり

1 若年無業者，フリーター

(若年無業者)

○15～34歳の若年無業者は60万人，15～34歳人口に占める割合は2.2%。（図表36）